

2025年1月 | 第80号

響 K O E

Himeji Central Hospital
地域連携だより



新年のご挨拶

理事長 東 靖人



新年明けましておめでとうございます。今年の年末年始は天候も良く、昨年のような悲しい惨事もなく穏やかなお正月でした。皆様方はいかがお過ごしだったでしょうか。

さて本年は団塊の世代が後期高齢者（75歳以上）になる、あの2025年です。すでに3-4年前から患者や職員の高齢化、人員不足は超リアルなものとなっております。これが今後も続き、さらに進むと思われます。また高齢化社会では社会保障費の増加を抑えることが必定ですので、昨年のトリプル改定も次の「2040年問題」を背景に医療費の抑制が意識された改定でした。さらに「賃上げ」を強制的に行わさせるため、ベースアップ評価料が診療報酬上に設定されたことが特徴でした。このベースアップ評価料をはじめ、新たな項目、算定要件、加算、施設基準や届出などが多数あり、複雑で理解が難しいものになっていました。現実にベースアップ評価料の算定率は兵庫県では病院では90%ですが、診療所では20%に留まっています。

すでに昨年からはテーマは2040年頃の医療体制に移っており、2025年以降をどう乗り切るか、という話はできません。私たちは医療現場の真っ只中で、立ち止まることなく手を打ってゆくことを継続する一年になると思われます。大切なことは地域のニーズに寄り添って医療を行ってゆくこと、つまり今あなたに必要な病院へ、を実現してゆくことに尽きると思います。当院は昨年、病院機能評価の受審に合格し、診療体制の整備が格段に進みました。待ち望んでおりました内科の先生方も赴任しています。また患者サポートセンターも発足し、入退院の調整がより機動的に、より寄り添った形でおこなってゆく体制ができています。このような取り組みを充実させ、前に進めることで未来が開けてくると確信しております。どうか皆様、当院とともに診療に取り組んでくださいますようお願いいたします。

今年の干支は「巳（み）」、すなわち蛇で、脱皮を繰り返し変化や成長を遂げる動物とされています。混迷の本年、蛇のようにしなやかに、したたかに医療を実現していく一年になることと思います。その中で懸案の病院の建て替えについての検討も良い芽が出てくることを確信しております。どうか本年も当院をよろしくお願いいたします。



姫路中央病院は 日本医療機能評価機構の認定病院です

患者さんの命と向き合う病院には、その医療の質を担保するために備えているべき機能があります。国民の健康と福祉の向上に貢献することを目的とする公益財団法人として1995年に設立された日本医療機能評価機構は、病院が備えているべき機能について、中立・公平な専門調査者チームによる「病院機能評価」審査を行い、一定の水準を満たした病院を「認定病院」としています。約90項目の病院機能を専門調査者が審査し評価しています。

評価を行う項目は「患者さんの視点に立って良質な医療を提供するために必要な組織体制」や、「実際に医療を提供するプロセス」、「病院全体の管理・運営体制」など、約90項目があります。信頼できる医療を確保することを目的に、専門調査者が病院の機能を評価することで、その病院の課題を明らかにして医療の質改善を支援するものです。



公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care



〔公財〕日本医療機能評価機構とは

日本医療機能評価機構は、国民の健康と福祉の向上に寄与することを目的に設立された公益財団法人です。

質の高い医療を実現するために、病院機能評価をはじめ、医療安全に関する教育研修、医療事故情報のデータベース、診療ガイドライン等の提供など、幅広い事業を実施しています。



お正月行事食を提供しました！



入院中の患者さんへ向けて少しでも季節を感じていただけたらと思い、お正月の3が日に行事食を提供しました。

当院では給食業務を委託しており、1日約450食の様々な食種・形態の食事を提供しています。

本年もよりいっそう患者さんにご満足いただけるよう栄養科一同でお食事のサポートをしていきたいと思ひます。



元日のお食事



1月2日のお食事

新任医師
紹介

内 科 かめさき ひろし
亀崎 洋



専門領域

リウマチ・膠原病内科 血液内科

着任に
あたったの抱負



近年、内科が専門内科に分かれた後も、内科全般にわたる診療能力や専門科間の隙間を埋める能力が重要視されています。高齢化に伴い、複数疾患を持つ患者の対応が急務ですが、「内科」や「総合診療科」の設置が多くの病院で失敗してきた理由は、技術習得や新規医師獲得の難しさ、疾患の範囲が不明確で興味が持てないこと、指導医の経験不足などです。これを改善するため、リウマチ・膠原病内科を中心に診療システムを確立し、専門分野ごとに疾患対応を分担、病院全体で必要な知識を共有する体制を構築することを目指して内科体制強化に尽力していきたくと思いますのでよろしくお願いします。

新任医師
紹介

内 科 でがみ ひろゆき
出上 裕之



専門領域

一般内科

着任に
あたったの抱負



兵庫県西宮市出身の出上裕之（でがみひろゆき）と申します。専門領域は「呼吸器内科」ですが「一般内科」としての勤務がこの病院では中心となるだろうと思っています。

昨今医療に限らず、新たな問題が発生した際に色々な媒体で様々な意見と相反する情報が錯綜する時代となりました。その中で情報を集めれば集めるほど、「一体どれが一番正解なんだろう」と感じる時もあり、取捨選択の難しさを非常に感じています。「私は能力と判断の限り患者に利益すると思う養生法をとり、悪くて有害と知る方法を決してとらない」というヒポクラテスの誓いを改めて考え直す日が増えた気がします。もし、医療に関して疑問に思う事があれば率直に尋ねていただければ、自分の知りえる範囲内において誠実にお答えいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

新任医師
紹介

リハビリテーション科 かわい ひろゆき
河井 宏之



専門領域

リハビリテーション

着任に
あたったの抱負



昨年12月1日よりリハビリテーション科に所属となりました河井宏之と申します。病気療養中の方々は肉体的のみならず、精神的にも追い込まれた状況にあると思います。「病気を見ずして病人を診よ」という言葉がありますが、私もこの言葉を深く胸に刻み込んで、患者様方が少しでも笑顔に満ちた生活を取り戻せるように微力ながらも他職種の方々と協力し合って向き合いたいと思います。今後ご面倒をおかけすることもあるかもしれませんが、誠実に対話を重ねていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

姫路中央病院

			月	火	水	木	金	土
外 科		午 前	山野 武寿	岩谷 慶照	田中 賢一 大山 直雄	山野 陽土	田中 賢一	
		午 後	山野 武寿 (予約)	岩谷 慶照 (予約)	田中 賢一 (予約)	山野 陽土 (予約)	田中 賢一 (予約)	
専 門 外 来	物忘れ外来 (予約) ※1	午 前					東 靖人	
		午 後		加藤 信介	幡中 典子	田畑 昌子		
	リハビリテーション外来	午 前					井川 鋭史 (予約)	
	総合診療 (予約) ※4	午 前			金丸 太一 (予約・第1週のみ)			
	ペイン外来 ◆電話予約可	午 前	打田 智久 (予約)					
	IBD外来	午 前		宗友 良憲 担当医		宗友 良憲		宗友 良憲 担当医 (第2・3・4週のみ)
		午 後		宗友 良憲 (予約)				
	乳 腺 ◆電話予約可 当日受付は14：00まで	午 後			大山 直雄			

姫路中央病院附属クリニック

2025年1月1日更新

			月	火	水	木	金	土
神経内科		午 前	東 靖人	喜多 也寸志	幡中 典子	東 靖人	田畑 昌子	担当医 ★第5週休診
			田畑 昌子 (予約)	東 靖人 (予約) 加藤 信介 (予約)	加藤 信介 (予約)	田畑 昌子 (予約) 幡中 典子 (予約)	東 靖人 (予約) 喜多 也寸志 (予約)	
		午 後	田畑 昌子 (予約) 石浦 浩之 (予約・第1週のみ)	喜多 也寸志 (予約) 東 靖人 (予約)	加藤 信介 (予約)	幡中 典子 (予約)	田畑 昌子 (予約) 喜多 也寸志 (予約)	
脳神経外科		午 前	松井 利浩	松井 利浩	後藤 正樹	山田 高嗣	萬代 真哉	後藤 正樹
整形外科		午 前		片山 直志		片山 直志	野田 光昭	野田 光昭
内 科		午 前	亀崎 洋	田淵 剛 亀崎 洋	田淵 剛 出上 裕之	亀崎 洋	竹内 大亮	
		午 後					竹内 大亮 (予約)	
専 門 外 来	ⅣⅣⅣ (予約)※2	午 後			杉生 憲志 (予約・第2週のみ)			
	頭 痛 (予約)※3				竹島 多賀夫 (予約・第1週のみ)			
	肝 臓 ◆電話予約可						菅野 雅彦 (予約)	
	循 環 器 ◆当日受付は15：00まで			西庵 克彦	担当医 (第2・4週のみ)			
	皮 膚	午 前			柴垣 亮	柴垣 亮		
		午 後			柴垣 亮 (予約)	柴垣 亮 (予約)		